

嶺南地域共創センター

ニュースレター

地域住民の移動について意見交換しました

令和5年12月17日(日)に、小浜市内外海コミュニティーセンターにおいて、内外海地区の住民の方々、小浜市役所の方々と交えて地区住民の移動環境について意見交換会を実施しました。

県内での住民主体の移動手段の確保の事例を紹介するとともに、移動手段やお出かけ先といった日常の移動、具体的な問題(将来に対する不安など)、期待する公共交通の姿(将来への期待)などについて、ご自身やご家族の状況、また近所の方々の状況について、ざっくばらんにお話しいただきました。今はマイカーでの移動が中心だが近い将来は免許返納も考えられるので、公共交通がないと不安といった意見や、隣町に用事がある場合に市内だけのサービスでは不便といった意見、デマンド化による利便性の向上と料金とのバランスが大事といった、令和4年度のデマンドバス運行実験を踏まえながら持続可能な地区交通の形を希求する意見が出されました。

なお今回は具体的な運行を検討するのではなく、まずは現状理解と今後に向けた意識の共有を主眼としたことから、次年度は引き続きこのような意見交換の場を持つとともに、実際の利用者一人一人から丁寧に実態を聴取するとともに、今後利用を望む潜在的な利用者に向けたアピール、またともに地区の将来交通を考える機運を盛り上げ、地域づくりの仲間を増やしていくこととしました。(文/川本義海)



「まなび」のシンポジウムを開催しました

令和6年3月20日(水・祝)に、敦賀市のプラザ萬象において、「人生100年時代の『まなび』によるまちづくり・人づくりシンポジウム」が開催しました。

敦賀市が主催となり、本学教育学部・嶺南地域共創センター、放送大学福井学習センター及び丸善雄松堂(株)が共催として、地域の「まなび」を支える産官学民の先進的な事例に取り組む関係者による講演を行いました。その中で、敦賀市知育・啓発施設ちえなみきにおいて、「知の創造」活動に取り組んできた、丸善雄松堂(株)、その他敦賀市・小川都市整備部長(現まちづくり観光部長)及び当センター・嘉瀬井専任教員の講演がありました。昨年度、ちえなみきでまなびのプロジェクトをすすめてきた嘉瀬井専任教員は、「共創」へと向かう力、成長を促し、多様性や関係性を育むことが、地域社会におけるまなびの役割に資するのではないかと報告しました。

また、参加者からは「人があって『まなび』があると感じた。」、「皆さんが今、どう考えているのか。何を見て、何を考えているのかを知ることが出来たのは貴重な機会でした。」などといった声がありました。

